

1950
2012
4 / 1

府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/橋口 紀塩 編集人/田中 克義
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

働きやすい
職場づくりのために
あなたも府職労へ

被災者の生活を支え、住民のいのち・くらしを守るため、最前線でがんばる自治体職員

東日本大震災・原発事故から一年



東日本大震災と原発事故から一年が経過します。死者・行方不明者1万9千人以上、そして今もなお34万人以上の人が避難生活を余儀なくされています。

今年の3月11日は、被災地はもとより、全国各地で復興と被災者の生活再建を早期に願うとともに、原発ゼロの社会を求める集会が開催されました。

大阪では、扇町公園に8千人以上の府民・労働者が集い、震災からの復興と原発ゼロ、自然エネルギーへの転換を求め、集会とパレードが行われました。昨午、地震が発生した午後2時46分には、参加者全員で黙祷を捧げ、犠牲者を悼みました。

いま、被災地では復興に向けてさまざまな努力が行われています。しかし、国の財政的支援の規模が小さく、大企業の利益を優先する余り、被災者の生活再建、くらしや健康がおろそかにされています。

多くの被災者が仕事を失う中で、失業給付も3ヶ月で打ち切られようとしています。また、「二重ロー

憲法をくらし・地域のすみずみに！ 職場から仕事を見つめ直し住民との共同を広げよう！

「安全神話」を持ち出して原発の再稼働を強引に進めようとしています。

ヨーロッパ諸国では、原発に頼らず自然エネルギーに転換する流れが大きくなってきています。

日本は、広島・長崎の原爆、ビキニ環礁での福竜丸乗組員の被ばくなど、歴史にも放射能の恐ろしさを



よく知っているはずですが。いつ事故が起こるか分からない、人類のいのちを脅かす原発の推進はやめて「原発ゼロ」に向けた世界の流れに合流しなければなりません。

東日本大震災・福島原発事故では、自治体職員が住民のいのちとくらしを守る最前線に立ち、その役割を果たした姿が明らかになりました。まさに、憲法で謳われて

「安全神話」を持ち出して原発の再稼働を強引に進めようとしています。

ヨーロッパ諸国では、原発に頼らず自然エネルギーに転換する流れが大きくなってきています。

日本は、広島・長崎の原爆、ビキニ環礁での福竜丸乗組員の被ばくなど、歴史にも放射能の恐ろしさを



憲法・地方自治法違反！「全体の奉仕者」否定、知事言いなり、住民切り捨ての職員づくりを狙う職員基本条例の強行可決に満身の怒りを込めて抗議する

2月府議会での職員基本条例、教育基本条例の強行可決に対し、3月26日、府職労執行委員会は、声明を発表しました。

3月23日、大阪府議会は「維新の会」、公明、自民の賛成で、職員基本条例、教育基本条例(府教育行政基本条例、府立学校条例)を強行可決しました。

このことは、憲法と民主主義、地方自治と公教育を根底から踏みこむ暴挙であり、断じて許せません。府職労は、この暴挙に満身の怒りを込めて抗議するとともに、職員基本条例・教育基本条

府議会で、職員・教育基本条例が強行可決された。この2条例は、首長いなるの職員・教員をつくるものだ。特に職員基本条例は、自治体職員と住民を対立させ、お互いのを言えない状態にしておいて、財界が求めている「大阪都構想」を一気に実現させるものではない。

「安全神話」を持ち出して原発の再稼働を強引に進めようとしています。

ヨーロッパ諸国では、原発に頼らず自然エネルギーに転換する流れが大きくなってきています。

日本は、広島・長崎の原爆、ビキニ環礁での福竜丸乗組員の被ばくなど、歴史にも放射能の恐ろしさを